

「フアンシエ」二年かがみふしも

村はずれのいえに、わかいふうふが、すん
で、いました。おとなりには、チツヤの畑が
あります。「おとなりのチツヤが食^たべたくて
たまらないたべたら、きつとよくなるわ」
ある日、おくさんに言われて、「だんなさんは
おとなりに行きました。畑のチツヤを、わけ
てもらおうと、思^ったのです。ぶも、おとな
りには、だれも、いません。だんなさんは、
チツヤをひとつ、ぬすんでしまいました。の
ところが、ちよつとあるいなと、思^いました。

雪白とバラ赤

雪白とバラ赤は、だんろのそばで、おかよこ
んの、お話しを、きいたり、うた^ったりしま
した。のところが、ゆきが、ふ^っているのに
元気だなと思^いました。

くるみわり人形

クリスマスイブ、マリーのいえに、つぎつぎと
おきかくが、か^ってきました。「マリークリスマス
スプレゼントは、ドロツセルマイヤーおじさ
んが、マリーにくれたのは、くるみのわり人形
でした。そこが、うれしそうであ^ったです。

かいぞう文庫

白雪ひめ、
白雪ひめは、おがきさんがなくなつたのび、
とてもさびしかつたと思ひます。
おきさきは、本当のことだけを、いうか、
みきもちてい、白雪ひめがけさいのとま、
に、おきさきは、ニばんめといわれ、たのび、
けらいに、森の、おくに、おをい、て、
ろせと、いわれ、ました、でも、けらいは、お、
ひめさまを、たすけ、おう、ひ、する、ところ、が、
か、た、と思ひ、ます、
――
おがきさん

おがきさんは、こあかつた、と、思ひます。
かりやうどが、見たのは、オオカミでした。
おはあさんを、たづな、かりやうどは、ハ
サミで、オオカミの、おながき、パツと、切
りました、さび、か、かりやうどが、たすけ、
くれたんだな、赤きんも、おはあさん、
も、ぶじのところ、が、かりやうどが、たすけ、
てくれたんだな、と、思ひます。

かかみふしむ

どうぶつのはなごえ きょうりゅう

くら田 せつぎ

海ごう文このたぐさく本がある中で、なぜ

この本にしたかと言うと、この本は、音がで

る、とびだししかけ絵本だから、きょうりゅう

うのなきごえがどんななごえなのかが、学べる

からです。

はじめて見たときは、この本は、どうして

音がなるのかわからなくて、どうすれば、きょう

りゅうをいっぺんに、とび出せられるのが、

それが、とても知りたくなかったまじませ

んでした。

でも、何回も読んでうちに、ひょうしの

うらに、音をならすためのようなものがつい

ていろの気がつきました。だからぼくは、

「あ、それが、これが、きょうりゅうのなき

ごえを、出して、いるんだ。」

と、思いましました。でも、なぜ、ページをがえ

るとちがう音がするんだらう、と思えてきま

しました。でも、それは、まだわか、ていませ

もう一つ、知りたかった、なぜきょうりやうかとひだすのか？それは、おりのかがあから、からだと、思います。おりのがあるから、ページをたたむと、おりの目がおれて、きょうりやうかが中に入っていくんだと思います。

この絵本は、こわいきょうりやうのページもあれば、やさしいページもあって、おもしろいので、また、かきたいです。

かいぞう文庫

やくそくだよ、ミュウを読んで

こんどうりようすけ

犬のミュウは、「ぼくらのおねえちゃんです。ミュウはここにこしています。きらきらしています。たいようみたいにあかるい。ミュウはみんなのにんきものです。ぼくもミュウみたいになりたいです。へびをおっぱらって「ぼくら」をたすけたのです。

しかし、ミュウにはきらいなものもあつたのです。それは、ねこです。あんなに小さくてかわいいのになんできらいなんでしょう。

さいごには、ミュウはとしをとってだんだん弱よわくなつてきました。いぬの十三才は人間の九十才たそうです。とうとうミュウは死んでしまいました。かわいそうに、十三才で死んでしまったなんてみじかいと思いました。

もしかしたら、「ぼくら」はミュウと野原をさんぽしたりあそんだりした思い出をバにす

